

## 基本理念

### 目的（存在理由）

### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観（不変の主義）

## 1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、  
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

## 2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、  
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

## 3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々<sup>※</sup>に対し、  
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

<sup>※</sup>「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー  
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに第46期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）  
報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度（当期）における日本経済は、企業収益の回復を受け日経平均株価も堅調に推移し、また個人消費についても消費税増税の駆け込み需要反動減から戻りつつあり、景気は緩やかに回復してまいりました。一方で、急激な円安による輸入関連企業・製造関連企業のコスト増に伴う景況感の悪化や、原油価格の大幅な下落など、今後の国際情勢や経済の先行きは不透明であり、注視すべき状況となっております。

ユニットハウス業界におきましては、公共投資の堅調な

推移や建設工事の増加などにより、需要が高い状態が継続しておりますが、建設労働者の不足が顕在化しており、先行きは楽観視できない状況となっております。

このような情勢の中、当社グループは、生産及び物流拠点の設備拡充やレンタル資産整備体制の強化を進め、需要増加に対応できる体制を整えております。また、展示販売場やトランクルーム等の販売ネットワーク拡充についても、計画に沿って継続して取り組んでおります。

当社のポリシーである「必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提供する」を実践することで、当社のユニットハウスは、従来の仮設建設市場のみならず、ここ数年来開拓を続けてきた本建築市場、不動産市場までその優位性を十分発揮できるものと確信しております。“建築の工業化”という当社のコア技術をさらに高めていくことにより新たな市場の開拓を図っていく所存です。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指し、失敗を恐れず情熱を持って活動していきます。

### 当期の業績について

ユニットハウスのレンタルにおきましては、前年に引き続き、公共投資予算の増加に加え、民間の設備投資の増加の影響により、全国的に出荷は好調に推移しました。また、エアコンシステムや電気配線と電気設備をユニットハウスと一体化した配電システムによって、ユニットハウスの付加価値を向上させ、引き続き受注獲得に努めました。トランクルームにおいても、新たに72店舗出店するなど売上拡充を図りました。

ユニットハウスの販売におきましては、新規展示場の出店により販売能力の向上に努めるとともに、既存店舗のリ

ニューアルも積極的に行うことで、販売チャネルの拡充にも努めました。

上記の結果、当期の連結売上高は29,844百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

利益面においては、営業利益3,865百万円（前年同期比16.3%増）、経常利益3,793百万円（前年同期比16.9%増）、当期純利益2,273百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

なお、レンタル資産の増強を行った結果、当期における総資産は、前期末に対し4,162百万円増加し51,906百万円となりました。また純資産の合計額は、前期末に対し1,682百万円増加し23,101百万円となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成27年6月

代表取締役社長 **長妻貴嗣**